

## 函館市 L R T 整備計画について（概要）

「函館市交通事業経営計画（第2次）」（計画期間：平成22～31年度）

交通事業の経営方策を定めたもので、この計画における事業経営の基本的な考え方として以下を掲げ、電車の利用促進等を中心とする収入に係る対策、経費の効率化等を中心とする支出に係る対策等を実施し、事業経営の推進に努めるものである。

- ・ 現行の営業路線を維持することを基本とする効率的な運行および経営の実施
- ・ 高齢社会やバリアフリー対策など利用者の視点からの魅力あるサービスの提供・単年度収支の黒字化を基本とする経営の維持

その経営計画に基づき、安全運行の確保と将来にわたる事業運営を図るための施設等整備推進に係る実施計画として定めたものが、

→ **函館市 L R T 整備計画**

○函館市 L R T 整備計画の中で、路面電車事業の活性化を図るための整備目標としては、

- 1 利便性・快適性等の向上
  - ・ 障がい者や高齢者等利用者の利便性、安全性に配慮し、市民に親しまれる魅力ある車両の導入
  - ・ 老朽化車両の更新による安全性、快適性の向上と修繕費用の軽減
  - ・ 停車場での、雨風防止の上屋設置や高齢者・障害者に配慮したバリアフリー対応の改良
  - ・ 電車内での市民・観光情報の積極的発信
  - ・ 多目的に使用できる I C カードの導入可能性についての検討
- 2 安全性の向上
  - ・ 軌道、き電線、変電所等の施設改良による安全性の向上
- 3 走行環境の改善
  - ・ 電車優先信号の設置、改良による定時性の向上
  - ・ 軌道内の電車優先運行についての自動車運転者等への啓発強化
  - ・ 軌道敷の舗装の改良による車道との区分の明確化による諸車の軌道敷内の進入防止
- 4 観光振興面での寄与向上
  - ・ 国際観光都市にふさわしい魅力的な車両の導入  
（レトロ電車と超低床電車が併走するまち）
  - ・ 軌道改良による街並み景観の改善

## 5 その他の電車活用策等

- ・旅行代理店や観光コンベンション団体等との連携強化による修学旅行生および観光客の誘致増強など
- ・沿線地域企業，商店街組合，支援団体などの協力による電車の活用と利用促進
- ・全市的なエコ・ライフ推進による公共交通機関の利用促進

を定めている。

○上記5つの目標を実現するための実施事業は

- ① 車両の購入および改良
- ② 軌道の改良
- ③ 変電所の改良
- ④ 安全地帯改良
- ⑤ 走行環境の改善
- ⑥ その他の電車活用策等
  - ・ICカード導入可能性の検討，情報発信強化等乗客サービスの向上，利用促進，接遇の向上などの諸対策の実施
  - ・旅行代理店等との連携強化
  - ・沿線地域企業，商店街組合，支援団体等との協力などによる電車の活用などソフト，ハード両面における対策を引き続き実施する。

○昨年度の本協議会において，ICカードシステムの導入を盛り込む計画変更をご承認いただいた。

○昨年3月の北海道新幹線開業後より，市電の乗客が対前年比で10%以上の増大となっており，更なる来訪者対策を講じる必要があることから，本計画を再度修正する。

具体的修正施策としては，

- ① 老朽化した谷地頭の分岐器を更新する。
- ② 低床電車1両導入に合わせ，大きなキャリーバッグをお持ちの来訪者が多数利用する函館アリーナ前電停と湯の川温泉電停のプラットホームにスロープを設置する。
- ③ 老朽化した車体を大規模に修繕（リフレッシュ）し，多言語表記できる行先表示器を設置する。